

2023年度 神戸財団賞受賞者コメント

美術学部 日本画専攻 大澤駿斗

この度は神戸財団賞をいただき、誠にありがとうございます。
この作品を描き終えたときは、とあるアニメに出てきた「終わるとか完成するとかでなく、魂を込めた妥協と諦めの結石が出る。」という言葉の意味を身にしみて実感しました。
これからの制作も辛いことがあると思いますが、楽しむことを忘れずベストを尽くしていきたいと思えます。



美術研究科 美術専攻 油画・版画領域 今井歩美



木版画にインスピレーションを受け、木を彫ることを基点に作品を制作しています。人生の半ばにある自分自身の実感を、彫る行為の中で表現しています。木を彫る行為には何か頂に登っていくような感覚があります。まだ説明できないことが沢山ありますが、これからもテーマと向き合い精進していきたいと考えています。
このような名誉ある賞をいただき誠に嬉しく思います。また卒業・修了制作展にて展示した「幻の登山」は展示するにあたり周囲の方々に沢山協力していただきました。本当にありがとうございました。

美術研究科 美術専攻 彫刻領域 五月女かおる

この度は神戸財団賞をいただき誠に光栄に存じます。このような栄誉ある賞をいただけましたのも、ご指導いただいた先生方をはじめとした支えてくださった多くの方々のおかげであると、身に染みて感じております。
これからもまた作品をみていただけるよう精進してまいります。



美術学部 芸術学専攻 服部 愛



この度は素晴らしい賞をいただきまして、誠にありがとうございます。論文の執筆には苦戦しましたが、熱心に指導してくださった先生方、励ましあった同学年の仲間、関わってくれた方々のおかげで、書き上げることが出来ました。頂いた賞を励みに、これからも学び続けたいと思えます。

美術学部 デザイン専攻 荒木沙月

この度は大変栄誉ある神戸財団賞という素晴らしい賞を頂き、誠にありがとうございました。幼い頃に考えた夢のような思いつきが、結局は人の心を動かせるのではないかと試行錯誤した4年生。賞に選んでいただいた事や、卒業制作を見にきて頂いた方々の反応から、私がこの4年間を通して出した1つの答えは決して間違っていなかったのかもしれないと思わせていただくことができました。本当にありがとうございました。



美術学部 陶磁専攻 上田春陽



この度は神戸財団賞という大変栄誉ある賞をいただき、とても嬉しく、また光栄に存じます。これまでご指導いただきました先生方、支えてくれた家族、また共に切磋琢磨してくれた友人に深く感謝申し上げます。
卒業制作では植物の影をモチーフにインスタレーションを制作しました。今まで積み重ねてきた技術の集大成であるとともに、自分の中で新しいことに挑戦したのもであったので評価していただけたこと、大変嬉しく思います。
これからもより一層制作に励んでまいります。

音楽学部 作曲専攻 作曲コース 永安大喜



この度は神戸財団賞を頂き、身に余る光栄でございます。このような賞をいただいたのも、丁寧にご指導してくださった成本教授をはじめ、多くの先生方、拙作の演奏に携わっていただいた演奏家の方々、サポートしてくれた友人や家族のお陰と実感しております。

高専を卒業して化学メーカーに勤めていた私を、作曲に関して無知な状態であるにも関わらず迎え入れていただいた愛知県立芸術大学。入学して一から音楽を勉強していく中で、たくさんの音楽経験の機会を頂き、チャレンジし続けたことで、この度の受賞に至るまで成長することができました。この賞を励みに、今後も作曲活動に精進して参ります。

音楽研究科 音楽専攻 声楽領域 小坂千尋

この度は大変素敵な賞を賜り、ありがとうございます。嬉しい気持ちと共に、身の引き締まるような思いでいっぱいです。

愛知県立芸術大学では学部から通して6年間、素晴らしい先生方と仲間たちに恵まれてのびのびと演奏表現の追求をさせて頂きました。今後とも、音楽を学べる環境とお世話になった全ての方々、周りの方々への感謝を忘れず、自分らしく進み続けたいと思います。

新たな環境で挑戦を恐れず、より一層精進してまいります。



音楽学部 器楽専攻 ピアノコース 北川温子



この度は名誉ある神戸財団賞を頂きまして、誠にありがとうございます。

大学での4年間は、熱心にご指導して下さった先生方、共に刺激し合える友人、いつも温かく寄り添ってくれる家族、周りの方々なしでは語れない大学生活だったと感じております。

自分に合う音楽との向き合い方を試行錯誤する毎日の中で、上手くいかない事も沢山ありました。

そしてこれからも様々な壁に直面すると思いますが、音楽が大好きという気持ちは、これまでもこれからも変わりません。

神戸財団賞という素晴らしい賞を頂いたことを励みに、音楽と向き合える喜びを噛み締めて、今後もより一層精進致します。ありがとうございました。

音楽研究科 音楽専攻 弦楽器領域 清水麗奈

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。

愛知県立芸術大学大学院での学生生活は、おかげさまで学内外の多くの演奏機会に恵まれ、演奏技術の研鑽はもちろん、音楽を人に届けるにはどうしたら良いかということがたくさん考える2年間となりました。また、自身の研究テーマでもある「女性作曲家のヴァイオリン作品」についても、実際に演奏会で取り上げ、皆様に聴いていただくことができました。今後の活動の中でも、今まであまり知られていなかった作曲家の作品を皆様に知っていただくきっかけとなれるよう、励んでまいります。



音楽研究科 音楽専攻 管・打楽器領域 滑川敬一



この度は神戸財団賞という素晴らしく名誉ある賞を頂けますこと大変光栄に思います。

愛知県立芸術大学では学部から合わせますと6年間という人生の4分の1を過ごし大変多くのことを学ばせて頂きました。

これからは学んできたことを生かし、これからも楽器演奏活動を通し様々なことを経験出来るようまた、音楽を通して新しいもの、ことに常に触れることが出来るよう日々努力して参ります。